

令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	39	学校名	仙台市立四郎丸小学校	校長名	勢藤 芳弘
------	----	-----	------------	-----	-------

1 取り組みのテーマ 「身近な事から植物に親しもう」

2 取り組みの紹介, 成果



(1) 環境委員会のプランターへの花植え

本校は、現在、校庭整備をおこなっているため、学校敷地内の緑が少ない状況にあります。

子供たちに少しでも植物の大切さを感じてほしいと願い、昇降口前のプランターにビオラなどの花を植えました。環境委員会の子供たちは、花植えとなるとみんな進んで活動に取り組み、大事そうに花の苗を植えていました。植物を愛する心を育て、環境教育へつなげていきたいです。



(2) 学童農園でのサツマイモ掘りとリース作り

本校には、学校の周辺に学童農園があり、そこで1・2学年と特別支援学級は、春にサツマイモの苗を植えに行きます。夏を越えて少し寒さを感じ始めた11月に収穫を行うことができました。

収穫の前日には、教職員が畑のツタを鎌で切り、次の日の芋掘りに備えました。そのツタを使って特別支援学級はリース作りを行い、クリスマスに向けて、華やかに仕上げていました。今後、継続して取り組んでいきたいと思います。また3学年は小松菜の種植え、収穫で、食物ができるまでの大変さや、食物ができるのに適した環境について考えることができました。

次年度は、校庭の工事が終わって校庭が使えるようになるので、学校園や学年花壇等の環境整備をすることと、花びらでの色水作りなどの活動計画を立てていきたいと考えます。



ひまわり学級の児童が、かわいい飾りを付けてくれました。丁寧に仕上げています。クリスマスの飾りにぴったりです。



捨てればゴミになってしまうつたも、くるくると丸く束ねれば、立派なリースになります。サツマイモの葉っぱを払って、くるくる束ねました。